

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査資料

第1-1 採択地区調査専門員

令和3年度使用 中学校国語科（国語）調査資料

東京書籍	<p><課題解決学習のための具体的な手立てについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとの「言葉の力」により、「読む」「書く」「話す」「聞く」の活動に具体的に取り組むための学習ポイントがわかりやすい。 △ 単元が始まるページに目標がなく、単元の終わりページである「てびき」の部分に記載されているものもある。 <p><特別支援教育を視野に入れたユニバーサルデザインへの配慮について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設定を固定した案内キャラクターを介しての解説により、読むことに抵抗を示す生徒の理解を助ける工夫がなされている。 ○ 教材の本文中に出現する新出漢字だけでなく、読みに抵抗のある既習漢字等にも振り振り仮名が付けられている <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の各行の下端にある5行ごとの行数表示以外にも、行を示す「・」が表示され、行数を正確に把握できる。
三省堂	<p><課題解決学習のための具体的な手立てについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの道しるべ」により学習の流れが明確になり、「読みを深める」から「自分の考えを深める」へのつながりを意識できる。 △ 教材の目標は初めに提示されているが、単元の目標が具体的でないことから、教材間の関連を明確にする工夫が必要である。 <p><特別支援教育を視野に入れたユニバーサルデザインへの配慮について></p> <ul style="list-style-type: none"> △ 様々な色を使うことで見分けやすい面もあるが、視覚的刺激が他の教科書に比べ強く、授業中の集中力低下を招く可能性が高い。 △ 使用される活字が小さく、本文の1ページあたりの行数・1行あたりの字数が多いため、読み取りに困難を感じる生徒の抵抗が大きい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料に示される品詞分類表の品詞名の配列が他の教科書と異なる。
教育出版	<p><課題解決学習のための具体的な手立てについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びナビ」「みちしるべ」により、既習事項を他の教材に活かすことができ、読解をする際の注意点・着眼点が具体的に示されている。 △ 各教材には目標が明示されているが、単元ごとにはテーマの設定のみであり、具体的な目標を明示する工夫が必要である。 <p><特別支援教育を視野に入れたユニバーサルデザインへの配慮について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年ごとに基調となる色が統一されて視覚的な刺激が少ないが、脚注にカラーの挿絵を採用していることで、理解の助けになっている。 △ 脚注欄に取り上げられる語句の出現行数が示されず、本文での確認に困難を生じる上、新出漢字については読みも単元末に一括表示となっている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料に示される品詞分類表の品詞名の配列が他の教科書と異なる。
光村図書	<p><課題解決学習のための具体的な手立てについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の「学習の窓」では、学習を通して身につける力のポイントが具体的に示されており、巻末一覧で振り返ることができる。 ○ 各単元の目標が始めのページに「読む」などの具体的な観点と共に示しており、また、単元の終わりには授業の流れを掲載している。

<特別支援教育を視野に入れたユニバーサルデザインへの配慮について>

- 文法の解説部分において、重要語句を赤字で表記しており、視覚的に捉えることが容易である。
- △ 古文の単元において、併記されている現代語訳と古文との差異が、字体の相違だけであることから、混同を避けるためにも文字色を変える等の工夫が必要である。

<その他>

- ・音声資料の提示にQRコードを導入している。
- ・ページ数の表示が単元名と共にページ上部に記載されている。

令和3年度使用 中学校国語科（書写）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><主体的な学習を支える構成・資料について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書写のかぎ」で文字の上達ポイントが示されており、生徒自身でも確認を常時行うことができる。 △ 書き込むワークシート形式より視覚資料として活用するものが多く、文字を書く練習を多くするためには資料の工夫が必要である。 <p><書写における基礎的・基本的な技能について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特に、行書において「点画の省略」「筆順の変化」を確認しながら、同じページに練習できる。 △ 行書の動きについて具体的に触れてはいるが、イラストでの提示のため、筆遣いが分かりにくい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のサイズが大きく、他の教科書などとの持ち運びが不便である。 ・国語の教科書で扱う文章が練習の教材として取り上げられている。
三省堂	<p><主体的な学習を支える構成・資料について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行書指導において、国語の授業と関連した言葉や、日常生活で使用する言葉、「日常の書式」による生徒の生活に即した教材を工夫している。 △ 行書指導の際に、特徴を説明しているページに練習する欄がないため、手本を参照しながらの練習には工夫が必要である。 <p><書写における基礎的・基本的な技能について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 部分別行書一覧表があり、部首やつくりの書き方を個別に確認することができるので、行書の字形のイメージをつかみやすい。 △ 行書の動きについて具体的に触れてはいるが、イラストでの提示のため、筆遣いが分かりにくい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料の提示にQRコードを導入している。
教育出版	<p><主体的な学習を支える構成・資料について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手紙やはがき、願書、原稿用紙の書き方など、身の回りの多様な表現に目を向け日常生活で活用できる資料が充実している。 △ ワークシート形式よりも参考資料として使用するものが多く、具体的な活動に結び付けづらい。 <p><書写における基礎的・基本的な技能について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行書の筆遣いを朱墨を使って示しており、行書の筆の動きの基本を確かめることができる。 ○ 楷書と行書の文字を対比して提示しており、見比べることで行書の特徴を容易に理解することができる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のサイズが大きく、他の教科書などとの持ち運びが不便である。 ・書写テストが教科書内にあり、3年間の学習成果を確認することができる。

光村図書

<主体的な学習を支える構成・資料について>

- 見開きの手本が多く準備されており、半紙を使用しての指導の際にはそのまま活用することができる。
- 取り外して使用できる「書写ブック」が付属しており、家庭での自主的な学習や提出させる際の利便性がある。

<書写における基礎的・基本的な技能について>

- 筆先のみ朱墨を使った書き方を文字の隣に提示することで、筆遣いが視覚的に捉えやすくなっている。
- 行書の練習において、「点画の省略」や「筆順の変化」などに注目させたい箇所について色を使い分け、視覚的にわかりやすくしている。

<その他>

- ・映像資料の提示にQRコードを導入している。

令和3年度使用 中学校社会科（地理的分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「集める・読み取る・まとめる」のコーナーを豊富に設け、見方・考え方を十分に働かせて、生徒が効果的に学ぶことができる構成になっている。 ○ どの単元も、全体の流れがつかみやすく構成されており、課題について自分の言葉でまとめられるような工夫が随所になされている。 <p>＜資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の背景をつかむために必要な資料や写真・図が適切な量で提示されており、説明文と資料との連携も適切である。 ○ ICTを活用した資料の提示にも力を入れており、資料の提示方法やその表現も豊富である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料、本文ともに適切な大きさや量で掲載され、ページ数も適切である。生徒が扱いやすいようコンパクトにまとめられている。
教育出版	<p>＜見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えについて、見方・考え方を働かせる項目が明確に示されており、スムーズに取り組むための流れが工夫されている。 △ 表現の項目における「まとめ方」の説明において、説明文やキーワードが少ないため、生徒が文章で表現することについての工夫が必要である。 <p>＜資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 掲載されている資料の数が適切であり、各資料に対する説明も分かりやすい言葉でまとめられている。 △ 資料に関する文章での説明が長いため、理解するまでに時間がかかる。資料に関連した写真や図の掲載がもう少しあるとよい。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料、本文ともに適切な大きさや量で掲載され、ページ数も適切である。生徒が扱いやすいようコンパクトにまとめられている。
帝国書院	<p>＜見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「確認しよう」「説明しよう」の項目では、どの部分に着目しながら思考し考えをまとめていくとよいのかが明確に示されている。 △ 記述の内容について、やや難しく表記されている部分もあるため、生徒が文章を読み取り、まとめに向かうことが難しい単元もある。 <p>＜資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図と資料の組み合わせが効果的に配置されている部分が多く、空間的な把握を通して、わかりやすく資料を読み取ることができる。 △ 資料全体を通して、単元を貫くに値する資料としての必要性がやや弱く、単元全体の構成を意識した資料の掲載について工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料、本文ともに適切な大きさや量で掲載され、ページ数も適切である。生徒が扱いやすいようコンパクトにまとめられている。
日本文教出版	<p>＜見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「チャレンジ地理・学習のまとめ」において、単元を総括して自分の言葉でまとめやすい表で構成されており、主体的な学びに繋がりやすい構成である。 △ 「深めよう」のコーナーの表現について、課題を自分の言葉でまとめるためにはやや抽象的な文章であり工夫が必要である。

<資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて>

- 「共生・環境・防災」など、持続可能な社会の実現に向けた学習項目を写真資料とコラムという形で分かりやすく掲載している。
- △ 身近な地域の調査の単元において、説明文が多く本文に関連した資料が少ない。必要な資料が掲載できるよう、レイアウト等の工夫が必要である。

<その他>

- ・資料、本文ともに適切な大きさや量で掲載され、ページ数も適切である。生徒が扱いやすいようコンパクトにまとめられている。

令和3年度使用 中学校社会科（歴史的分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章のまとめにおいて様々なまとめ方を紹介しており、生徒が思考力を身に付けるためへのヒントが豊富に盛り込まれている。 ○ 単元ごとに色別で分けられ、各時間の学習課題の設定や「導入・展開・まとめ」の流れが一連で明確に示されおり、生徒が全体の流れをつかきやすい構成である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の種類が豊富で表現方法も適切であり、復元写真や想像図等においては、その大きさについても記載され、実物の大きさを実感できるように配慮されている。 ○ 「みんなでチャレンジ」「スキルアップ」(集める・読み取る・まとめる)など、生徒が自主的に考えを深めることができるコーナーが適切に設けられている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料、本文ともに適切な大きさや量で掲載され、ページ数も適切である。生徒が扱いやすいようコンパクトにまとめられている。
教育出版	<p><見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページの学習課題を「確認・表現」との表記で明確に示しており、どのように考えて課題に取り組んでいくとよいかのわかりやすく説明が記載されている。 △ 各章のまとめが、どれも同じようなまとめ方で記載されているため、様々な視点で捉えたまとめ方を紹介するなどの工夫が必要である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代の最初に記載されている「学習を始めよう」において、資料を参考にしながら当時の様子を考えさせる問いが設けられており、生徒の興味・関心を高められる。 △ モノクロでの写真が多く、資料から生徒がどのくらい当時のことを読み取ることができるか難しい面があり、工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ数は適切であるが、余白の部分がかなり見られるページがあり、レイアウトを工夫することにより、コンパクトにする工夫が必要である。
帝国書院	<p><見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代において、初めの「タイムトラベル」で当時の生活の様子をイラストで紹介し、疑問点を示し、見開きで「確認しよう・説明しよう」という流れがわかりやすい。 △ 資料が大きく見やすいものもあるが、重要な図式が小さくなっており、図式の活用において視覚的に扱いにくいいため、工夫が必要である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未来に向けて、「環境・交流・人権・平和」の4つの視点から、持続可能な開発目標に関連する項目が示されており、未来に目を向けた指導に活かすことができる。 △ 単元や項目によって資料の情報量についての差が大きい。情報量の少ない単元においては、十分な理解度が得られない部分があり、資料の精選が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトや資料の配置も工夫されており適切なページ数であるため、コンパクトで扱いやすい。

<p>山川出版社</p>	<p><見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページに「用語」の説明が豊富に記載され、難しい言葉への対応についても配慮がなされており、用語への関心を高めることができる。 △ 本文の説明が多く、関連する資料が少ない。生徒が自分の言葉でまとめるために、文章の精選や視覚的に捉えられる資料の提示についての工夫が必要である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グローバル化社会を意識し、日本史と世界史の関連性を中心とした考え方についての資料提供が豊富に示されている。 △ 資料と図について、それぞれの関連性がややわかりにくいものが見られる。資料と図の関連性の説明についての工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ数が適切であり、コンパクトにまとめられているが、難解な言葉が多く、内容的に難しく感じられる。
<p>日本文教出版</p>	<p><見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題における見方・考え方を「時系列・推移・比較・つながり」と構築して設定しており、課題に取り組むための流れがつかみやすい。 △ 資料が大きく見やすいが、本文の情報量が少なく、生徒がまとめる際に読み取る文章の情報量についての工夫が必要である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページの右端に「時代・世紀のスケール」を記載されており、生徒がその単元と時代をすぐに結びつけることができ、資料を読み取る際に役立つ。 △ 文化についての資料が他の資料よりも多く掲載されているが、文化以外の面については、本文と資料との整合性がわかりにくい面が見られる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他社と比較してページ数が多く、生徒がやや扱いにくいと思われる。特に、レイアウトの精選について工夫を感じる。
<p>育鵬社</p>	<p><見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の構成の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」という流れで本文が構成されており、生徒の興味・関心に応じて学習が進められるようになっている。 △ 「表現の仕方」や「まとめ方」の文言や資料について、生徒にとって難しい表現での記載があり、工夫が必要である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「“虫の目”で時代の特色をつかむ」という項目を設けて、各時代を象徴する資料を提示することで、生徒の学習に対する興味・関心を高めている。 △ 資料を見開きで大きく掲載しているため、本文としての情報量が少ない。資料を精選するなど、本文とのバランスに工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他社と比較してページ数が多く、生徒がやや扱いにくいと思われる。特に、レイアウトの精選について工夫を感じる。

令和3年度使用 中学校社会科（公民的分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜「見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の始めと章末に、導入の活動を通した探求課題と、探求のステップからまとめまでの流れが示されており、自分の言葉でまとめやすい構成である。 ○ 各章の活動に合わせて、それぞれ「思考ツール」がわかりやすく紹介されており、見方・考え方を働かせながら自分の言葉でまとめる流れができている。 <p>＜資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容について、関連している日本国憲法がレイアウトで見やすく示されており、生徒がすぐに関連性を結びつけることができる。 ○ 資料の提示方法や表現について、各単元でのICTにおける様々な活用にも力を入れており、生徒の多角的に資料を読み取る力を高めることができる。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色覚特性の観点から、紙面や図版において「カラーユニバーサルデザイン」に対応している。
教育出版	<p>＜「見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉で伝えあおう」のコーナーでは、ディベートやプレゼンテーション等が紹介され、言語活動の充実を図ることができる。 △ 各章ごとにおける課題の提示やまとめについて、生徒が自分たちで取り組む活動の紹介がやや少ないため、工夫が必要である。 <p>＜資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページに、小学校の内容との関連や地理・歴史的分野との関連や関連している分野も具体的に示されている。 △ 各資料が大目に掲載されていることから、本文の文字が小さくやや読みにくいいため、資料の精選とレイアウトについての工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色覚について、より多くの人に見やすくなるように、「カラーユニバーサル」や「ユニバーサルデザインフォント」を使用する配慮がなされている。
帝国書院	<p>＜「見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の活動が充実しており、章末には見方・考え方を働かせながらステップを踏んで、各章の答を自分の言葉でまとめることができる。 △ 各章や各節における最初のページにしか示されていないため、見方・考え方を働かせる動機づけが弱く、工夫が必要である。

	<p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページの資料に、それぞれの資料を活用する際の視点が明確に示されており、資料から読み取るポイントがわかりやすく説明されている。 △ グラフがやや小さく、資料からの読み取りや活用に時間がかかる。グラフを大き目にするなど、レイアウトについて工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページあたりの紙の重さが現行版よりも約5%軽く、ページ増による重さの負担を抑えられている。
日本文教出版	<p><「見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に関連した課題を、「シンキングツール」としてすぐに使えるような構成になっており、見方・考え方を働かせることに結びつけやすい。 △ 各章ごとの単元を貫く課題が明確に示されていないため、単元の流れを意識しにくい。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各項目において、イラストや漫画を随所に挿入して事象や資料を説明しており、親しみやすく興味・関心を高めることができる。 △ デジタルツールマークが示されているが、やや見つけにくいいため、レイアウトについての工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大教科書も発行しており、通常の教科書の文字を拡大するとともに、写真や図版も再度レイアウトすることができる。
自由社	<p><「見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史との関連が強く、歴史と関連した面が充実しており、人権に関することや憲法の成立までの流れが特に丁寧に記述されている。 △ 見方・考え方やまとめ方についての記載が少ないため、各章や節ごとの課題が意識しにくく、工夫が必要である。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西洋の思想家や政治家が多く紹介されており、世界を通じた人権思想や憲法の背景が理解しやすい。 △ 各単元における資料がやや少なく、大きさの差異や余白の活用に課題がある。資料を増やすために、レイアウト等の工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図版の文字の中でやや太めの文字の箇所がいくつかあり、全体を通して視覚的に読みにくい印象を受けるため、工夫が必要である。

育鵬社	<p><「見方・考え方を働かせながら、課題に対し自分の言葉でまとめる学習の工夫について」></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の活動を「入り口」、まとめの活動を「これから」と称し、オープンエンドの課題にしているため、自分の言葉でまとめやすくなっている。 △ 公民における見方・考え方や、章全体の学習課題が明確に示されている部分が少なく、自分の言葉でまとめることへの意識づけがしにくい。 <p><資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章の適切さについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野・歴史的分野との関連について、具体的な事項を挙げた説明が記載されており、関連性がかみやすい。 △ 資料の提示における、ICTを活用した学習についての紹介が明確に示されていないため、わかりにくい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふりがなにはゴシック体を用いており、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮をしている。
-----	---

令和3年度使用 中学校社会科（地図）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜地形図、分布図、地勢図として活用する場合、色合い・グラフ・国名表記などの適切な表現について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマごとに「資料さくいん」を設けており、学習内容に応じて必要な資料を簡単に検索することができる。 △ 見開きの鳥瞰図が、日本と関わりの深い「アジア・ヨーロッパ・北アメリカ」のみであり、他の3州には鳥瞰図がない。 △ テーマとしての資料が充実しているが、やや情報量が多いため、指導内容の精選についての工夫が必要である。 <p>＜各分野の学習内容とのつながりについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イスラム圏を一望できる「西アジア・地中海周辺の一般図」など、地域的なつながりを重視した図取りの一般図が掲載され、歴史や公民の学習と関連した活用ができる。 △ 歴史・公民の特設ページが設けられているが、各分野の教科書との関連についての説明が少なく、関連ページも記載されていないため、工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に、地図帳の活用方法についての記述が少なく、地図の種類や用途、索引や統計資料の使い方などのオリエンテーションにおける工夫が必要である。
帝国書院	<p>＜地形図、分布図、地勢図として活用する場合、色合い・グラフ・国名表記などの適切な表現について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本地図では、地域の生活や産業が見える土地利用表現と土地の高さがわかる等高段採表現を併用し、多面的・多角的な視点から各地域の特色をつかみやすい。 ○ 学習支援の二次元コードを各所に設置し、多くの補完資料を閲覧できるため、タブレット学習及び自主学習においても生徒の主体的な学習を支援する工夫がされている。 ○ 小学校で学習した地図のきまりや構成要素（面・点・線・文字）及び地図の種別などが巻頭で丁寧に説明されている。 <p>＜各分野の学習内容とのつながりについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥瞰図に江戸時代の五街道や航路を示すなど、歴史年表や当時の地図など豊富に資料を取り入れており、歴史分野の様々な学習で活用することができる。 ○ 人権問題・少子高齢化・グローバル化・情報化社会等、現代社会における課題についての資料が豊富で、公民的分野の様々な学習で活用することができる。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判に拡大され188ページに増えたが、15%軽い紙を採用することで、重さは505gに抑えられている。厚みも抑えられているので、見開きで使用した際にも見やすい。

令和3年度使用 中学校数学科（数学）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜数学的活動の事例について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年1章の導入の題材「ドミノ倒し」や、5章の導入の題材「タブレットやスマホの画面」を例に挙げ、生徒が身近に感じ、興味を引きイメージしやすい。 ○「学びをひろげよう」では、数学と実社会や職業との繋がりを伝え、数学の有用性を実感できる内容を扱っている。 ○データの分析方法やレポートの作成方法の紹介や論点を明らかにした上での話し合い活動があり、思考力・判断力・表現力の育成に繋がっている。 <p>＜学びのガイド・学びのひろがりについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「問」には例と似た型の問題には「◆」がついており、生徒のつまずきに対応している。 ○「深い学び」がほぼすべての章に設定しており、問題発見・解決の過程が示されており、ヒント等のページが区切られるなどの工夫がされている。 ○実生活や他教科の学習など様々な場面を題材とした章末の「活用の問題」では、分量や情報量が多く、また、「記述式問題」が豊富に用意されている。巻末の解答には「考え方」や「説明のポイント」が設けられていてわかりやすい。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報量が適切で、余白が十分にあり、生徒が集中して学びやすい構成となっている。節の導入では、書き込んで考えることもできるようになっている。 ・デジタルコンテンツは、量が多く、自分でシミュレーションができるなど、デジタルの特徴を活かしたものが充実している。 ・他教科との関連を配慮した構成になっている。
大日本図書	<p>＜数学的活動の事例について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年1章の導入で、学校の花壇に関する事象を取り上げるなど、生徒が身近に感じる題材が取り上げられている。 ○図形の単元では、アイスクリームを題材とし、生徒が身近に感じ興味を引く事象を扱って数学的活動に繋がられている。 △3年5章の導入で、相似についての題材が写真3枚の拡大縮小のみであり、生徒の興味を引かせるには授業者の工夫が必要である。 <p>＜学びのガイド・学びのひろがりについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「例」や「例題」→「たしかめ」→「Q（問題）」→「プラス・ワン」のようにスモールステップになっているため、個に応じた指導をすることができる。 ○「学びにプラス」や数学の世界をさらにひろげる課題学習、発展的な学習などの問題や読み物などが充実している。 △「活動」は機械的な質問で構成されており、解説が少なく、生徒一人で教科書を進めることが難しいため、授業者の工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツは、量が多く、自分でシミュレーションができるが、生徒が家庭で使用するには難しいものもあり、工夫が必要である。 ・他教科との関連を配慮した構成になっている。
学校図書	<p>＜数学的活動の事例について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年4章の導入では、オリンピックのスキージャンプを題材とし、身近な事象を数学化して扱っている。 ○3年5章の導入で、相似についてタブレットの画面を例に挙げ、生徒の身近なことでイメージしやすい題材が扱われている。 △3年2章の平方根の利用で、A版とB版の紙の違いを扱っているが、授業の際には生徒の興味をひくために授業者の工夫が必要である。

	<p><学びのガイド・学びのひろがりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数と式」の領域においては、基本的な計算問題に数多く取り組めるように「計算力を高めよう」が用意されている。 ○「Tea Break」では、生徒が抱きそうな疑問が紹介され、知識をより深めたり、学年の枠を超えた数学に触れたりすることができる。 <p>△章末には、環境や日常生活の場面で数学を活用する問題「活用問題」が設けられているが、巻末の解答には解説がないため、指導に工夫が必要である。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードが教科書の随所に設けられており、授業や家庭学習のサポートなどに利用できる。しかし、ICT の利点を活かすためには改善の余地がある。 ・巻末にはホワイトボードマーカーで書いたり消したりできる「アイデアボード」が用意されており、話し合い活動や発表時などに活用できる。
教育出版	<p><数学的活動の事例について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年1章の導入では、カレンダーを扱い、生徒の身近なものから数学的な思考につながる工夫がされている。 ○「数学の広場」で、数学に関連する知識、数学の歴史的・文化的な話題が取り上げられ、また、社会性を養えるよう職業における数学の活用についても取り上げられている。 ○3年5章の導入で、相似についてタブレットの画面を例に挙げ、生徒の身近なことでイメージしやすい題材を扱っている。 <p><学びのガイド・学びのひろがりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「例」や「例題」をなぞった「たしかめ」が用意されており、また、誤りを正す問題が充実していて、個々のつまずきに対応している。 ○「学習のプロセスページ」では、問題発見・解決の数学的活動のプロセスをじっくり、丁寧に踏まえており、数学を活用していく流れがわかりやすい。 <p>△巻末の補充問題に「実力アップ問題」が設けられ、個に応じた問題が豊富に用意されているが、解答には解説がないため、指導に工夫が必要である。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・章の入口にはその章に関連する既習内容を確認する問題を、出口にはその章で学習した基礎的・基本的な内容がまとまったページが設けられている。 ・「まなびリンク」で、QR コードが示されており、無料で使えるデジタルコンテンツを用意し、動画やアニメーションを見ることができるとは、扱っている題材の数が少ない。
啓林館	<p><数学的活動の事例について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年1章の導入では、トランプマジックを扱い、生徒同士で活動しながら、事象を数学化する内容となっている。 ○「学びをいかそう」では、実際の社会と関連する題材を扱い、既習の内容からのひろがりを実感できるよう展開が工夫されている。 <p>△3年5章の導入で、相似についての題材が写真を拡大・縮小させた3枚のみであり、生徒の興味を引かせるには授業者の工夫が必要である。</p> <p><学びのガイド・学びのひろがりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章末問題が充実しており、そのページにある QR コードにはすべての問題の考え方と解説が用意されて、生徒のつまずきに対応している。 ○裏表紙からはじまる「自分から学ぼう編」には、復習問題、発展問題等の学びをひろげる教材が豊富に用意されている。 ○利用の節などに、問題解決までの流れがわかりやすく示され、「説明しよう」等、言語活動を充実する場面が適宜設けられている。

	<p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードが教科書の随所に設けられており、授業や家庭学習のサポートに利用できる。しかし、デジタルの利点を活かすためには改善の余地がある。 ・小中高の縦の関連や、他教科との横の関連を配慮した構成になっている。 ・自分の考えを数学の言葉でまとめて伝えたり、他者の考えを参考にして整理したりしながら学習を進めていけるよう工夫されている。
<p>数研出版</p>	<p>＜数学的活動の事例について＞</p> <p>○1年5章の作図の導入では、ゲームをモチーフにした課題を扱い、生徒の興味を引きやすくなっている。</p> <p>△3年5章の導入で、相似についての題材が画像3枚のみであり、生徒の興味を引かせる工夫が必要である。</p> <p>△各章の導入の題材に対しての広がり少なく、生徒の興味をひかせるには授業者の工夫が必要である。</p> <p>＜学びのガイド・学びのひろがりについて＞</p> <p>○キャラクターによる対話で、課題を進める過程、間違いを正す活動、解き方を比較する活動、ヒントなどが豊富に掲載されているため、生徒一人でも抵抗なく読みやすい構成となっている。</p> <p>○各章のはじめには既習学習の振り返りが用意されており、その章に必要な知識の確認ができるようになっている。</p> <p>△問題数はやや少ないため、知識・技能の定着や発展学習には授業者の工夫が必要である。</p> <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードが示されており、動画やアニメーションを見て学ぶことができる。また、補充問題が用意されており、クイズ形式で学習を進めることもできるよう工夫されている。 ・他教科との関連を配慮した構成になっている。
<p>日本文教出版</p>	<p>＜数学的活動の事例について＞</p> <p>○文字式の活用で、「対話シート」を使用して基石を並べる問題から、様々な考えをひきだし、他者の考えを参考にし、表現のしかたを練り上げることができる。</p> <p>△3年5章の導入で、相似についての題材がセーリングであるが、生徒の興味を引かせるには授業者の工夫が必要である。</p> <p>△3年6章の導入で、円の性質について既習事項を扱って進めているが、導入としての生徒の興味関心をもたせるには授業者の工夫が必要である。</p> <p>＜学びのガイド・学びのひろがりについて＞</p> <p>○新しい章に入る前に、既習事項を確認するページが用意されている。</p> <p>○「問」などには「考えよう」「話し合おう」「深めよう」「説明できるかな？」などのマークがついたものがあり、数学的活動を通して思考力、判断力、表現力等を育成しつつ、学習の流れがわかりやすいように工夫されておりよい。</p> <p>△側注の「チャレンジ」で追加問題が用意されているが、活用する問題等がやや少ないため、学習が進んでいる生徒や学びをひろげる指導には工夫が必要である。</p> <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードが示されており、動画やアニメーションを見ることができる。また、一問一答形式の問題があり、家庭学習に活用できる。 ・他教科との関連を配慮した構成になっている。

令和3年度使用 中学校理科（理科）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><思考の流れについて></p> <p>△ 「問題発見から活用」までの流れが統一されていてよいが、指導書のように情報量が多く、もう少し生徒に考えさせるような工夫が必要である。</p> <p>○ 「つながる科学」や「発展」では漫画などを用い工夫されており、幅広く発展的に学ぶことができる。写真なども多く使われ、興味・関心が高まる。</p> <p><実験・観察について></p> <p>△ 実験と実験の間に、生徒の思考をつなげる補足すべき小実験や、理解を深めるための追加実験、発展的な実験も取り入れ、生徒の思考力・理解力を高める工夫が必要である。</p> <p>△ 実験のページで、右ページに実験手順がぎっしり提示されていて文字が多すぎる。安全で正確な実験観察に向け、「注意」や「鍵」の部分を大きくする工夫が必要である。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QRコードは、それぞれ関連するページに記載するほうが検索しやすい。 ・ 「結論を表現しよう」は大変レベルが高い。 ・ 「活用」の回答がどこにあるかわからない。
大日本図書	<p><思考の流れについて></p> <p>○ 学習の流れがわかりやすく、見通しを持って学ぶことができる。問題解決の能力を意識して学習できる構成に工夫されている。</p> <p>○ 親しみやすい身の回りに関連があるもの、科学への夢をもてるような写真や資料を掲載して、「知りたい」「学びたい」という知的好奇心を高められるように工夫されている。</p> <p><実験・観察について></p> <p>○ 「目的」「着眼点」がきちんと示され、見通しを持って実験・観察ができ、「結果の整理」「結果から考えよう」で、考察・振り返りの視点がわかりやすくなっている。</p> <p>△ ノートやレポートの書き方を具体的に例示しながら丁寧に解説されているが、さらに写真や挿絵等を増やしてわかりやすくする工夫が必要である。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QRコードは、それぞれ関連するページに記載するほうが検索しやすい。 ・ 「つながる」で他教科との関連がわかる。 ・ 「Professional」では、関連する職業について掲載し、興味・関心が広げられる。
学校図書	<p><思考の流れについて></p> <p>△ 「気づき→課題設定→仮説→検証計画→観察・実験(方法)→結果→考察→振り返り→伝える」と学習の流れはよいが、情報量が多く、まとめの欄が小さく工夫が必要である。</p> <p>○ 実験後のまとめの文章や図の中に、普段の生活で見るとような、機械や食品などを例に挙げた資料が提示されている為、科学的な事象を身近に感じることができる。</p> <p><実験・観察について></p> <p>○ 「気づき→課題設定→仮説→検証計画→観察・実験(方法)→結果→考察→振り返り→伝える」というように、各実験に探究の進め方が提示されていて学びやすい。</p> <p>△ 実験の挿絵自体が詳しくわかりやすいが、実験結果を出す前に、挿絵でわかってしまうことがあるため、挿絵の内容を工夫する必要である。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QRコードを活用し、その章の振り返りが確認できるところが優れている。 ・ 単元のサブタイトルが身近で親しみを感じる。 ・ 探究の「Can do it」「振り返ろう」「つなげよう」が工夫されている。

<p>教育出版</p>	<p><思考の流れについて></p> <p>△ 各実験に入る前の仮説で、イラストの吹き出しにて、仮説のヒントを提示しているが、詳しく書き込まれている場面もあり、生徒自らの仮説設定が難しく工夫が必要である。</p> <p>○ 「ハローサイエンス」としてコラムが充実している。その章ごとの発展内容が詳しく提示されており、興味・関心を引き出すものとなっている。</p> <p><実験・観察について></p> <p>△ 各単元の内容理解のために、押さえておきたい主要な実験はしっかりとあるが、実験と実験をつなぐ補足すべき小さな実験が不足しており、工夫が必要である。</p> <p>○ 「やってみよう」の実験のやり方もいねいに記述され、わかりやすい絵やイラストが多く、生徒の興味・関心を喚起できるように工夫されている。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ページの左端から右端にかけて文字が多く、行間も狭い。 ・ 巻末資料が探究心をかき立てる。 ・ 有用な挿絵が多くあるが、もっと大きく見やすくすると有効活用できる。
<p>啓林館</p>	<p><思考の流れについて></p> <p>○ 「教えること」と「考えさせたいこと」が明確。「既習事項の確認」と「必要な情報」後に、平等に次の課題に対して科学的思考が育まれる積み上げの構成になっている。</p> <p>○ 「つながる学び」では小学校・高校の学習との関連性が明示されている。「科学コラム」では部活や料理、防災等の日常と関連付け、理科を学習する有用性が感じられる。</p> <p><実験・観察について></p> <p>○ 「大きな実験」と「課題解決に迫る為の小さな実験」が科学的思考に沿った配列となっている。生徒目線で「私のレポート」が提示され、結果を個でまとめる手助けとなる。</p> <p>○ 「実験のスキル」での操作確認や、「けが注意」での細かな配慮により、安全で正確にできる。説明の絵や写真が鮮明で簡潔であり、課題解決に向けて最後まで集中できる。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QRコードで、個・家庭での学びが可能。 ・ 行間・字体・ページ割り振りがUDを意識している。 ・ 巻末の探究シートは楽しくできるように工夫されている。

令和3年度使用 中学校音楽科（一般）調査資料

発行者	調査内容
教育出版	<p><各領域の系統性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書冒頭に「学びのユニット」として「うたう」「つくる」「きく」の3つの領域ごとに学びのねらいや教材、取り扱う〔共通事項〕が示されている。 ○ 「歌唱」では、斉唱から混声合唱へと発達の段階に応じて教材が配列され、生徒の実態に応じて教材を選択できるようになっている。 △ 「創作」では、生徒の興味を引く教材であるが、生徒の発達の段階を活かした教材配列となるよう工夫がほしい。 △ 「鑑賞」では、題材内及び題材間に学びの見通しがもてるような配列及び表記に工夫がほしい。 <p><教材性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポップス調リズムの曲や創作の言葉遊びなど、多くの生徒にとって親しみがもてる教材を多く取り上げている。 △ これまで取り上げられている教材が多く、これから求められる授業観に基づいた授業改善への示唆がほしい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、教科書に書き込めるワークシートが用意されている。
教育芸術社	<p><各領域の系統性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書冒頭に「学習内容」として「歌唱」「創作」「表現」ごとに生徒が身に付けるべき資質・能力と教材、取り扱う〔共通事項〕を関連させて示している。 ○ 「歌唱」では、斉唱から混声合唱へと発達の段階に応じて教材が配列されており、特に我が国の伝統的な歌唱は生徒の実態に応じて教材を選択できるようになっている。 ○ 「創作」では、同じ要素を用い、学年の進行に応じて発展的に扱える教材を配置するなど、系統性が重視されている。 ○ 「鑑賞」では、幅広い教材から生徒の実態に応じた曲を選択できるようになっており、教材間で発達の段階に応じた発展的な指導計画を組むことができる。 <p><教材性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 美しい旋律を有して多くの生徒が親しみをもち、かつ、音楽を形づくっている要素を生徒が学習できるよう配慮された教材を多く取り上げている。 ○ これから求められる授業改善に資する曲や生徒の心情に訴えるような新曲が多く掲載されている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて掲載されている教科書に書き込めるワークシートは、生徒が学ぶべき内容が明確に示されている。 ・ 埼玉ゆかりの熊谷直実の能「敦盛」が掲載されている。

令和3年度使用 中学校音楽科（器楽合奏）調査資料

発行者	調査内容
教育出版	<p><器楽の系統性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの学校で取り扱うことの多い「リコーダー」「ギター」「箏」については、発達の段階に応じた曲を選択することができるようになっており、演奏の参考となる写真等も多く掲載されている。 △ 上記以外の楽器は「篠笛」「尺八」「三味線」「太鼓」と我が国の伝統的な楽器のみの扱いであり、各学校の実態に応じた指導計画が作成しづらい。 <p><教材性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な曲から難易度の高い曲まで掲載されていて、生徒の実態の合わせた指導計画の作成や個別の学習にも対応ができる。 △ これまでの教科書に掲載されていた教材が多く、生徒の活動意欲を引き出す魅力的な教材を幅広い中から選択できるような工夫がほしい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて「歌唱」「創作」「鑑賞」との関連を図る内容が掲載されている。
教育芸術社	<p><器楽の系統性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの学校で取り扱うことの多い「リコーダー」「ギター」「箏」については発達の段階に応じた曲を選択することができるようになっており、演奏の参考となる写真等も多く掲載されている。 ○ 上記以外の楽器として、我が国の伝統的な楽器のほかに、アンサンブル活動で取り上げることの多い打楽器について奏法等が掲載されている。 <p><教材性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な曲から難易度の高い曲まで掲載されていて、生徒の実態の合わせた指導計画の作成や個別の学習にも対応ができる。 ○ ポピュラー音楽など幅広い分野の楽曲を取り上げ教材化しているため、生徒の活動意欲を引き出しやすい <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて「歌唱」「創作」「鑑賞」との関連を図る内容が掲載されている。 ・ 小学校で学習したソプラノリコーダーの教材が充実している。

令和3年度使用 中学校美術科（美術）調査資料

発行者	調査内容
開隆堂	<p>＜生徒の表現力を高めるための工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての項目にQRコードがついており、参考作品や道具の使い方など生徒に分かりやすく提示でき、創作イメージを高めやすくなっている。 ○ 各単元に「学習のポイント」が示されており、考えるポイントを押さえやすく、創作活動の見通しがもちやすい。 △ 説明の中の用語の中に、専門的すぎるものがみられ、生徒に分かりやすく伝えるための工夫が必要である。 <p>＜鑑賞に関する生徒の資質や能力を育成するための工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 掲載作品に「作者の言葉」が記されており、生徒が鑑賞する際に、作者の制作の意図・作品への思いを理解しやすくなっている。 △ QRコードで示される「アーティストファイル」は、長文での説明が多く、理解しづらい面もある。作者や作品の写真などが掲載されると、より関心を高められる。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末の「学びの資料」は、情報量も多く、制作時に役立つ内容である。 ・ 参考作品数：1年…約160点、2・3年…約400点。 A4ワイド判 (736g)
光村図書	<p>＜生徒の表現力を高めるための工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードを利用して作品を見たり、音声や動画による説明があったりと、創作活動をする際に、生徒は作品をイメージしやすく、表現力を高める工夫が感じられる。 ○ デザイン・工芸の分野では多くの作品が色彩豊かに掲載されており、生徒の創作意欲を高める工夫が感じられる。 ○ 「学習を支える資料」の部分は、制作時に知っておきたい内容が多く盛り込まれているとともに、「注意」が黄色で示されていて生徒の制作活動を助ける構成となっている。 <p>＜鑑賞に関する生徒の資質や能力を育成するための工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての項目に「鑑賞のポイント」が提示され、生徒が作品を鑑賞する際の対話的な活動を促す工夫が感じられる。 △ 「デザインや工芸など」の分野では、多くの資料が掲載されているが、「鑑賞のポイント」として、「文様の共通点」などは、答えがわかりにくく工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別の教科 道徳との関連が記載されており、道徳の内容を意識しながら学習できる。 ・ 参考作品数…1年：約160点、2・3年：約190点。 A4判 (700g)
日本文教出版	<p>＜生徒の表現力を高めるための工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参考作品の提示の仕方や写真の配置に迫力があり、生徒の創作意欲を喚起するとともに、各作品に「造形的な視点」が示され、生徒の制作を支援する工夫が感じられる。 ○ 参考資料として「作者の言葉」を付した生徒作品が数多く掲載されているとともに、「学びの目標」が具体的でわかりやすく示され、制作のめあてが明確になっている。 ○ QRコードによるデジタルデータが効果的に用いられており、立体作品は「360度鑑賞」ができるなど、制作時に空間認識を高められる工夫がみられる。 <p>＜鑑賞に関する生徒の資質や能力を育成するための工夫について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原寸大の鑑賞図版を含め、見開きのページを効果的に用いて鑑賞作品が大きく掲載されており、作品の細部まで深く見つめ、作品を味わうことができる。 △ ほぼ全てのページに「鑑賞」のマークがついているが、鑑賞の視点を言葉で表すなど、掲載されている作品のどこを意識して鑑賞すればよいのかを示す工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各巻の初めのページに「教科書の見方」が示されており、わかりやすい。 ・ 参考作品数…1年：約120点、2・3年上・下：約240点。 A4ワイド判 (896g)

令和3年度使用 中学校保健体育科（保健体育）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章末資料や技能実習資料が多く、写真やイラストも効果的に載せてあり、学習を深め広げるための工夫がなされている。 △ 章によっては、資料の挿絵が少なく、授業の時に参考にすることができないこともあるので、工夫が必要である。 <p>＜課題解決の流れがわかりやすく、工夫されているかについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間の流れが「見つける・課題の解決（活用する・考える）・広げる」となっていて、課題解決までの過程がわかりやすく工夫されている。 ○ 「活用する」で授業のまとめとして、主体的、対話的な活動ができるよう、設定されていて、今後の生活に役立てることができる。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 章末資料が多く、授業のつながりを意識した資料として活用できるように工夫がされている。
大日本図書	<p>＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 口絵が14ページと多く、写真も大きく豊富である。私たちの生活とスマートフォンなど身近な内容も掲載されている。 △ 本文と挿絵・図表がページをまたいで分離しているので、学習の流れの中で資料を活用しづらいという面があり、工夫が必要である。 <p>＜課題解決の流れがわかりやすく、工夫されているかについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文や資料を活用しながら、課題解決ができるように、いろいろな活動が示されている。 △ どこに課題があり、どこで調べ、考えさせ、どこで深めていくのかが明確に表示されておらず、授業の展開がしにくくなっているので工夫が必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 章末の資料が少ないように感じる。また、学習のまとめの問題がWEBサイトからになっているので、教科書に載せるなどの改善が必要である。
大修館書店	<p>＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめりごとに、写真・イラスト・表やグラフがバランスよく配置されている。 △ 図は実物に近い形で表示されているが、生徒にとっては難しさも感じられる。多くの色彩が使われているが見づらいという感覚をもつこともある。 <p>＜課題解決の流れがわかりやすく、工夫されているかについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コラムや事例が4者の中で最も多く取り扱われており、本文に関連した読み物を読んで知識が広げられるように工夫されている。 △ 課題の設定が行われても、その後の調べ・考えて深めるという手順が表示されていないので、調べる部分、深める部分の課題も必要である。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん教育の項目について、4ページの扱いであるが、特集資料のページを合わせると5ページと4者の中で最も多くの紙面を割いている。

<p>学研教育 みらい</p>	<p><適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料や挿絵が大きく見やすい。具体的に言うと、心肺蘇生法の具体的な流れが表示されており、非常にわかりやすい。 ○ イラストがわかりやすく理解力の低い生徒も興味をもって学びに加わることができる。4者の中で、挿絵・図表・イラスト等が一番充実している。 <p><課題解決の流れがわかりやすく、工夫されているかについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の段階で、生徒の興味を引くような発問がなされていて、授業に入りやすい。(生活習慣病とその予防、がんとその予防、喫煙と健康等) △ 課題等の内容にチェック項目が多いように感じる。展開の中で生徒が主体的、対話的な学びを实践できるような課題設定を行う工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色覚に特性がある生徒に配慮されたカラーユニバーサルデザインを採用している。脈拍数の測定方法、発育曲線の名称等の課題はある。
---------------------	--

令和3年度使用 中学校技術・家庭科（技術分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><技術の見方・考え方を働かせ、持続可能な社会を構築する資質能力の育成について></p> <p>○「最適化の窓」から、生活や社会を見ることで、技術の「見方、考え方」を捉えられるよう工夫している。</p> <p>△各内容のまとめに、「見方、考え方」を生かして未来とどう向き合うべきかを考えさせる記入項目が整理されている反面、情報量が物足りない。</p> <p><主体的に思考・判断・表現しながら、技術による問題解決に取り組む学習の充実について></p> <p>○問題を発見させる場面では、「問題解決カード」を使い、主体的に問題解決学習に取り組めるよう工夫しているとともに、つまずきへの対応策も工夫されている。</p> <p>○構成内容が統一されており、どの分野から学んでも生徒の思考が深まりやすい工夫がされている。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最後に、「統合的な問題解決」のための事例や考え方に関するページが充実し、新たな発想や知的財産の活用・創造を促すよう工夫されている。 ・ページ右下に「パラパラ漫画」がある。興味関心を注ぐための工夫とも取れるが、「学習を充実させるための情報ではない」ため、不必要という捉え方もできる。
教育図書	<p><技術の見方・考え方を働かせ、持続可能な社会を構築する資質能力の育成について></p> <p>○「見つける」の生徒と先生の対話により、技術への関心を喚起して、生徒が自覚的に「見方、考え方」を働かせることができる。</p> <p>△社会で活躍している人々に焦点をあて、未来社会を考察できる特集ページが掲載されているが、情報量が物足りない。</p> <p><主体的に思考・判断・表現しながら、技術による問題解決に取り組む学習の充実について></p> <p>○生徒が問題解決的な学習に迷わないように、それぞれの分野で設計・計画の手順を4つのステップで構成されている。</p> <p>○編ごとにステップの内容が工夫されている。基本形からの選択が出来たり、記入しながら思考を深めさせたりするなどの工夫がされている。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最後に「夢を叶える技術」という編がまとめられている。未来の社会で活躍する技術について考えたり、自分自身の将来を見つめたりするきっかけとなりえる。 ・学習に関する情報のみがシンプルに整理されている反面、ページ欄外の「豆知識」などの情報が少ない。
開隆堂	<p><技術の見方・考え方を働かせ、持続可能な社会を構築する資質能力の育成について></p> <p>○ガイダンスから各分野の内容まで、取り組み方を共通化しており「見方、考え方」が捉えやすい工夫がされている。</p> <p>○各内容最後の「未来とのつながりを考えさせる場面」では、「利用者」「技術者」両方の視点から評価している。</p> <p><主体的に思考・判断・表現しながら、技術による問題解決に取り組む学習の充実について></p> <p>○ガイダンスやものづくりの場面で適宜P D C Aサイクルの流れがわかるように表示を工夫しており、P D C Aの流れを意識した実習・学習の展開がまとめられている。</p> <p>○各内容において、トレードオフの関係に気付けるトレードオフマークが表示されており、「技術の最適化」に向けた実践的な問題解決能力を育む工夫がされている。</p>

<その他>

- ページの右上に、各内容における「道具」や「部品」などの写真と名前が掲載されており、興味関心を惹きつける工夫がされている。
- 各内容項目のまとめが充実しているが、その反面、技術分野全体のまとめに関する工夫や課題設定が少なく物足りない。

令和3年度使用 中学校技術・家庭科（家庭分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動の充実について></p> <p>○「見方・考え方」の一つである伝統文化とのかかわりについて、どの分野でも資料が豊富である。特に、「和服の文化」では様々な観点を幅広く取り上げている。</p> <p>△実践例が豊富で、生徒の実態に合わせて選ぶこともでき家庭でも実践しやすいが、情報量と文字数が多いぶん、必要な情報を選択しにくいと捉えることもできる。</p> <p><問題解決的な学習を通した、思考力・判断力・表現力の育成について></p> <p>○小題材ごとに、「考えてみよう・調べてみよう・話し合ってみよう・やってみよう」というコーナーが設定されており、学習の始めにできる活動例が記載されている。</p> <p>△生活の課題と実践が、全て最後にまとまって記載されているが、分野の最後に記載されていた方が生徒にとっては取り組みやすい。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成が、全国の実態を踏まえた順序となっているので指導しやすい。(食生活→衣生活→住生活→消費生活と環境→家族・地域→生活の課題と実践の順) ・巻末の付録として、『防災・減災手帳』がついている。住生活の『災害への対策』の学習ページでは地震に特化した資料が豊富であり、学習内容をより深めることができる。
教育図書	<p><見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動の充実について></p> <p>○「見方・考え方」を養うための学習の流れとして、各学習ページに「みつめる」「学ぶ」「振り返る」の3ステップが設定され、繰り返し行える工夫がされている。</p> <p>△「見方・考え方」の一つである伝統文化とのかかわりについて、衣生活の和服についてはイラストがほとんどで、構成や文化についての情報が物足りない。</p> <p><問題解決的な学習を通した、思考力・判断力・表現力の育成について></p> <p>○小題材ごとに「やってみよう」のページでは、みつめる・学ぶ・振り返るの、3ステップで構成されている。そのため、主体的・対話的で深い学びにつながる。</p> <p>○導入・やってみよう・学びを生かそう・章末のまとめの学習の流れで構成され、「学びを生かそう」では、既習事項を生かし学びを深めることが期待できる。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵『年中行事と私たちの暮らし』の見開きページでは、各学習分野と実生活の関わりや繋がりを考えさせることができる。 ・布を用いた製作の自習例では、実生活に沿った作品例が多く記載されている。袋物や箱状のものなど、比較的簡単で取り組みやすいものを中心に、実践しやすい。
開隆堂	<p><見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動の充実について></p> <p>○衣生活の製作例では、実生活に活用しやすい作品例が豊富であり、古着のリメイクなどが多く記載され、「持続可能な社会」への見方・考え方を生かした実践が期待できる。</p> <p>○「見方・考え方」の一つである伝統文化とのかかわりについて、和服と洋服の構成や着用について重点的に説明され、特に浴衣の着用については見開き構成となっており、実践的・体験的な活動に結びつきやすい。</p> <p><問題解決的な学習を通した、思考力・判断力・表現力の育成について></p> <p>○小題材ごとに、「話し合ってみよう・やってみよう・考えてみよう・発表しよう」というコーナーが設定されており主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。</p> <p>○生活の課題と実践が、全て最後にまとまって記載されて、取り組みやすくなっている。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭分野のガイダンスでは、それぞれの学習分野が、家庭や地域、社会、自然とつながっていて、影響し合っていることをイラストで示している。

	<p>・巻末には、『災害から「いのちと生活」を守るために』という資料が記載され、学習内容を深められるとともに、実生活の防災意識を高める手立てとなり得る。</p>
--	--

令和3年度使用 中学校外国語科（英語） 調査資料

発行者	調査内容
<p>東京書籍 NEW HORIZON</p>	<p><コミュニケーション活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の教科書 Unit1～Unit5 のすべての part に Enjoy Communication が入っており、小学校で慣れ親しんだ「表現」を使った「話す」活動が充実している。 ○ 2～3年生は Let' s talk や Let' s listen が随所に盛り込まれており、コミュニケーション活動の充実が図れるように工夫されている。 <p><教科書の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 扉や preview では、題材や文法項目についての英語を聞き、題材についての興味を引き出した上で、その後の学習に取り組めるように工夫されている。 ○ どの学年も、語彙や基本文など、言語活動を行う際に必要な情報がコンパクトにまとまっており、使いやすい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A4判となっており、見やすいだけでなく、語彙も豊富に扱っている。
<p>開隆堂 Sunshine</p>	<p><コミュニケーション活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Try は毎時間の帯活動で行う Small Talk のコーナーとなっており、小学校での既習内容を生かしたペアワーク活動を無理なく頻繁に行うことが可能である。 ○ Our project、Power-up、Interact コーナーでは、「伝え合う能力」、「話し合える能力」等を段階的に身につけられるような活動を数多く設定してある。 <p><教科書の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Scenes では実際の言語材料の使用場面を漫画形式で導入でき、その後本文の内容理解等の活動に入ることができる構成になっている。 ○ 新出文法を漫画形式で導入する Scenes のまとめや、Q&A、アクションカードなど、活用しやすい巻末資料が豊富である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ retell において、読んだ内容について自分の言葉で表現する場が設けられている。
<p>三省堂 NEW CROWN</p>	<p><コミュニケーション活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson の Talk の部分で会話練習やクイズを出し合う形になっており、生徒が興味・関心をもって取り組むことができる。 ○ Take Action! の Talk、GET Plus、Word Bank を用いて、様々な場面を想定したコミュニケーション活動を行うことができる。 <p><教科書の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson では、Get（学ぶ）、Use（使う）、Take Action（発展）、文法のまとめ（確認）という一連の流れができており、活用しやすい。 △ role play 等、教科書を見ながら発展的な活動に取り組むことができるが、生徒の実態に合わせて難易度を調整する必要がある。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文で扱われる題材が多岐にわたっており、生徒の視野を広げることができる。

<p>教育出版 ONE WORLD</p>	<p><コミュニケーション活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Useful Expressions」や「Project」のコーナーでは、さらに実践的なコミュニケーション活動を通じて、英語で表現・発信する力を身につけることができる。 △ 各 Lesson におけるコミュニケーション活動が少ないので、活動を増やす必要がある。 <p><教科書の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> △ Part1, 2 は、主に会話文となっており、その中で新出文法にも触れられているが、実際の使用場面を想定しづらい導入になっているところもある。 ○ 語彙や Q&A、基本文などが見やすくまとまっており、全て赤シートで隠しながら活用することができる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Activities Plus では、「話すこと [やりとり]」の力を引き出すことができる。
<p>光村図書 Here We Go!</p>	<p><コミュニケーション活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際理解を深め、電話や道案内などの表現を使う場面が豊富にあり、コミュニケーション活動の充実が図られている。 ○ 帯教材 Let' s Talk! では、This Is Me, My Life, My Future という3つのテーマで友だちと即興でやり取りする活動を継続的にできるように工夫している。 <p><教科書の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> △ 教科書を開いた際に、文章や文字の量が多く感じるため、英語が得意でない生徒に対する支援や指導の工夫が必要となる場面がある。 ○ 3年間一続きのストーリーになっており、生徒の教科書への興味を引き出せるとともに、ストーリーに沿って自然に言語材料を学ぶことができる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Active Words や「英語のしくみ」などの巻末資料が充実している。
<p>啓林館 Blue Sky</p>	<p><コミュニケーション活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Let' s Talk や Use において、身近な場面を想定した会話活動を行い、新出文法の理解を深め、重要表現の定着を図ることができる。 ○ Target のまとめで、各 Part で学んだ新出文法を振り返り、Let' s Try で会話や発表練習を行い、文法事項の定着を図ることができる。 <p><教科書の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文が会話形式になっているところが多く、会話の中で新出文法や重要表現等を学び、活用することができる。 △ 歌や語彙など、必要な情報がまとめられているが、発展的な活動等につなげるための工夫が必要である。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Read and Think は、Unit で学んだことを確認できる発展問題となっている。

令和3年度使用 中学校特別の教科 道徳（道徳）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学年においていじめの発生しやすい年度初めにいじめに関する題材を多く配置している。 ○ いじめ発生の件数が最も多い1学年においては、早期かつ重点的にいじめに関する教材を配置して重点的に学習を行うことができる。 <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いを充実させ、生徒相互の考えをふかめるために、「話し合いの手引き」のページが設けてあり、これを活用することで自分の考え方を明確にしたり、友達の考えについての理解を深めたりすることができる。 ○ ホワイトボードや心情円が巻末についているので、これらの教具を使用することで効果的に話し合いを行うことができる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめのユニットでは全学年共通の作者の教材を用いるなどの工夫をし、系統性を持たせている。
教育出版	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめや命の大切さを取り扱う題材を連続して設定し、集中して学習できるようにユニットを配置している。 ○ いじめが増加しやすい時期に重点的に配置している。 <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材のねらいとなるテーマがわかりやすい文章で表現されているので生徒が見通しを持ち授業に取り組める。 ○ 教材末の「学びの道しるべ」では学習の流れが明示されており、生徒が問題意識を持ちやすくなる発問や、答えが1つでない課題の発問が投げかけやすくなる工夫がされている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定番教材が多く掲載されているが作品の背景を理解させるのに工夫が必要である。
光村図書	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 命の大切さや生命尊重をテーマとした教材を偏りなく配置している。 △ 年度当初に配置された教材は、進級に対するものが主であるため、いじめに関する教材の実施時期を早めるなどの工夫が必要である。 <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階を踏まえた学びのテーマを設け、年間を3つのシーズンに区切っている。折込の「学びの記録」をシーズンごとに記述することで生徒の成長を見取りやすいように工夫されている。 ○ 教材末の考えようではめあての提示しており、課題設定と中心発問を考えた後、めあてに戻ることで生徒自身が考えをまとめやすくなる工夫がされている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーションの観点からも漫画や写真が効果的に配置されている。

<p>日本文教 出版</p>	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について> ○ いじめに関して複数の教材をセットで配置したユニットをつくり、ユニット全体の導入と実施後のコラムによって充実を図っている。 △ 間接的に扱う教材もあるため、指導に工夫が必要である。</p> <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について> ○ 問題解決的な学習の教材や体験的な学習の教材では生徒が中心となって（主体的に）進められるよう、何について考えるのか明示するなど工夫されている。 △ 発問の仕方次第では教材のねらいとなるテーマが多様な価値観を生みにくくなってしまいうので指導者の工夫が必要である。</p> <p><その他> ・ 教材に対応した道徳ノートが付属されており、自己の成長を振り返ることができる。</p>
<p>学研教育 みらい</p>	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について> ○ 生命の尊さについて比較的多く取り扱われ、命に関わる教材には専用の記号を用いるなどの工夫がされている。 ○ 命の大切さに関する教材では、多角的に考えられるように配慮されている。</p> <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について> ○ 主題名やめあてを載せないことで生徒が主体的に課題を発見したり、授業者が柔軟に主題やめあてを考えたりすることが出来るようにしている。主題名やめあては載せてないがキーワードで学びに向かいやすくしている。 ○ 「深めよう」では「見つけよう、考えよう、話し合おう」や「やってみよう、振り返ろう」など多様な指導方法の提案がされている。</p> <p><その他> ・ 大きいサイズの教科書とグラフ、写真などのさまざまな資料を用いて視覚的に生徒を引き付ける工夫がある。</p>
<p>廣済堂 あかつき</p>	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について> ○ 命の大切さに関する教材が全学年に多数配置され、重点的に学習できるように配慮されている。 △ いじめに直接関係する教材が、少なめで散在しているため、集中的な配置やより直接的な教材の選定などの工夫が必要である。</p> <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について> ○ 各教材の最後には内容項目に関連した先人の言葉が掲載されており、導入での考えるきっかけや最後の説話として利用することができる。 △ 教材末の「考える・話し合う」に記載されている発問の数が多いので指導に工夫が必要である。</p> <p><その他> ・ 終末で活用できる道徳ノートが付属されている。</p>
<p>日本教科書</p>	<p><いじめ問題や命の大切さなどの題材を教材として取り上げる上での工夫について> △ いじめや命の大切さに関して、集中配置や実施時期の工夫、他のテーマとの関係性を考慮した学習順序の配慮などの工夫が必要である。 △ 全体的にいじめに関する教材が少なく、取り扱う教材割合を調整するなどの工夫が必要である。</p> <p><考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫について> ○ 教材のねらいとなるテーマの記述がないので自由度が高くなる一方で、教員の指導力が問われる。 △ 教材末の「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」では生徒の思考を揺さぶる間を設定しているが、指導には工夫が必要である。</p> <p><その他> ・ 内容項目での掲載のため、学校の特色に合わせて教材を生かす工夫が必要となる。</p>